

石川県立看護大学 地域ケア総合センター事業
かほく市と石川県立看護大学との包括的連携協力事業

「こころのシネマ学園台」

2025年9月21日（日）開場 12時15分 開始 12時45分～
映画上映会&カフェ 監督を囲むトークイベント



2011年3月11日 東日本大震災、障害のある人と支援者の物語。

星に語りて

Starry Sky

松本 勲 監督作品

出演／要田禎子 蛭雪次朗 今谷フシ 植木紀世彦 枝光利雄 菅井 玲 入江崇史 宮川浩明 生島ヒロシ

製作統括／西村 直 企画／藤井克徳 脚本／山本おさむ 音楽／小林洋平 プロデューサー／新井英夫

撮影／鈴木雅也 照明／古橋孝映 録音／西岡正巳 美術／津留啓亮 編集／古賀陽一 スクリプター／山下千鶴
衣裳／杉本京加 ヘアメイク／清水美穂 ラインプロデューサー／赤間俊秀 助監督／佐藤 吏 制作担当／富田政男
制作プロダクション／ターゲット 製作／きょうされん 〈2019年／115分〉

消えてしまった障害のある人と、苦悩する支援者描く劇映画。



「こころのシネマ学園台」

2025年9月21日（日）開場 12時15分 開始 12時45分～

【第1部】映画上映会：12時45分～14時50分

場所：石川県立看護大学 講堂

【第2部】シネマ de カフェ@IPNU：15時～16時45分（同学内）

★監督を囲むトークイベント

参加費：無料 定員：映画上映会 200名 カフェ 60名

事前申し込み受付中！！（当日参加も可能です）



監督：松本動（まつもと ゆるぐ）

この映画は、過去の東日本大震災を描きながら、すべての人にいずれ訪れる、未来の有様をも描いています。

私はこの「星に語りて～Starry Sky～」を、一人でも多くの人に観てもらい、その真実を知っていただきたいのです。

お申込みはこちら
のQRコードから



大災害時における障害のある人の状況と支援者の活動を描くヒューマンドラマ。

2011年3月11日に発生したマグニチュード9.0のわが国観測史上最大の地震、東日本大震災。岩手県陸前高田市の高台にある共同作業所では、津波の直接的な被害は免れたものの、仲間のひとりを失い、落胆する利用者を職員たちが励ましなが、日常を取り戻すため奮闘していた。一方、原発事故による甚大な被害を受けた福島県南相馬市では、避難できずに取り残されている障害者がいるという。集まった支援者たちが障害者の安否確認を進めようとするも、そこには立ちはだかる障壁があった…。

この映画は、当時を知る証言者たちへの取材に基づき、その知られざる実情を新進気鋭の松本動監督によって描き出された群像劇です。実力派俳優陣に加え、障害当事者を出演者として起用し、人間味あふれるドラマが繰り広げられます。

この映画を通して災害によるこころの傷、障がいのある人への支援、こころの復興などについて考える機会になることを目的として企画しました。

〈シネマ de カフェ@IPNU〉

お菓子と飲み物を用意しております



映画の感想、震災後の今、石川のこの地でできること、これからの私たち、防災やこころの復興について一緒に考えてみませんか？

主催：石川県立看護大学 精神看護学講座 美濃由紀子

問い合わせ先：石川県立看護大学 精神看護学講座 大江真吾

〒929-1210 石川県かほく市学園台1-1 TEL: (076) 281-8301 (代)

Email: sogocen@ishikawa-nu.ac.jp